

令和8年9月4日

令和8年度 第2回学校運営協議会議事録

1. 学校長より

- ・委嘱状交付

2. 会長挨拶

今年は暑い日が続いた。大阪では恵みの雨が降り出しているが、大洪水で被害が出ているところもある。地震の後に洪水に見舞われた地域もある。お互いに気を付けていきましょう。

3. ○夏休み工作教室（8/6・7）について

高学年 23名 参加

低学年 9名 参加

ボランティアの方々のおかげで、子どもたちが自主的に活動できた。普段できない活動もできたので、すごく良かった。折り紙はこれからも続けていきたい。3つの講座をローテーションで行っていく。子どもたちの話から喜んでいたことが分かってよかった。講師の方の気が付かなかった方法で作っている子どもたちもいた。楽しんでいた。すごく上手に早く作っていた。

○tetoru、承諾書について

学校からの情報をメール配信したい。アプリの取得と登録をお願いしたい。承諾書の署名をお願いします。

4. 学校行事や学校の状況について

- ・ 9月 参観 9/29（火）クリーンキャンペーン（6限）
- ・ 10月 運動会 10/18（日）臨海学校10/26（月）・27（火）
- ・ 11月 修学旅行 11/11（水）・12（木）
- ・ 12月 マラソン大会 12/2（水）予備日12/4（金）

5. PTAより

- ・ 寄贈本について

9月の参観の時に不要な本の寄贈をお願いしたところ50冊程度集まった。きれいに整えるのをボランティアの方をお願いします。

運動会の未就学児競技は玉入れに決定。

6. 各実行委員会（最後に各委員会から全体に報告）

（1）学力・体力委員会〔皆田、築島、久成、安田、校長〕

学テとすすくウォッチの結果についての報告。子どもたちの結果を見るとがんばっていたことがわかった。学校に行くのが楽しいと思っている子が多かった。平日にSNSやゲームを

使用する時間が増えていることも分かった。

(2) 生活・特活委員会〔西村、中島、森、奥開、井上・教務〕

小山田口の交差点で自転車と自動車の交通事故についての報告。

不登校児童の2学期当初の様子について

学校への送迎の自動車について…事情がない限りはご遠慮いただいているが…。

(3) 環境委員会〔坂口、中原、PTA 会長、教頭〕

花活の話。来年度以降に向けて募集をするポスターやチラシを作成している。参観日前後に配付したい。夏休み中も暑い中水やりをしていただき、ありがたかった。

7. その他

(1) 情報交換

民生児童委員

- ・子どもさわやか大賞に子どもを推薦したい。
- ・和歌山市での防災講習について。
- ・まちづくり会のイベント…ぶっかけうどん・クレープ・ゲームなど大盛況だった。次回は12月。
- ・学習室に向けて話し合い。
- ・家庭科のお手伝い…針に糸を通すのは子どもたちにお願いしたい。

福祉委員会

- ・12/6 午前中に、避難所マニュアルを中心にした訓練を行う。近隣マンションとの合同訓練も考えている。連合自治会が主で行ってくれる。ワイヤレストランペットスピーカーを導入出来たら。
- ・11/1 いもほり。

健全育成会

- ・ほのぼのフェスタについて、役員会で話をつめていく。

まちづくりかい

- ・①7/21～②8/21～ラジオ体操。大人が60名前後、子どもは20名前後の参加。参加賞に郵便局の協力。焼き菓子の皆勤賞もあった。
- ・寺が池が世界遺産になったことを知らない子が多かったのでみんなに伝えた。

連合自治会

- ・市の補助金…防災訓練で18万円の助成金
- ・避難所マニュアルの活用を進める。子どもにも防災訓練に参加してほしい。

その他

- ・地域の子どもたちの自転車の乗り方がよくなってきた。広がらず縦1列で乗るようになった。
- ・子どもの尿漏れが増えているらしい。和式トイレを使わなくなったことにより姿勢が保てなくなっていることも影響があるかもしれない。
- ・11/3 文化の日にイベントが各地で行われている。ラブリーホールでも文化祭を行う。参加者が減っているので、PRとして市役所のロビーでデモンストレーションを行う。

(2) 本年度の活動予定について

第1回	令和 8年 6月26日(木)
第2回	令和 8年 9月 4日(金)
第3回	令和 8年 11月 6日(金)
第4回	令和 8年 12月18日(金)
第5回	令和 9年 2月 2日(火)

(3) 連絡ツール「tetoru」登録

(4) 承諾書記入と提出

7. 校長より

今日は警報がでるかもしれなかったので全家庭に登校の判断や緊急下校について tetoru 配信をした。大阪北部地震の時には、過去に子どもを返す学校もあれば授業をする学校もあった。緊急下校時の対応を再考する必要がある。緊急下校時は下校引率対応、保護者の自動車の誘導対応、連絡対応など、対応に苦慮することは間違いない。そこで、来年度から緊急下校時には全児童を学校で待機させ、保護者に迎えに来てもらうようにしていきたい。